

# 佐野ブランドキャラクター「さのまる」の 経済波及効果

佐野市では、佐野市総合計画において観光立市とスポーツ立市をリーディングプロジェクトに据え、活力あるまちづくりの推進を進めている。こうしたなか、平成 23 年 2 月に佐野ブランドキャラクター「さのまる」が誕生し、平成 25 年には「ゆるキャラ®グランプリ 2013」で見事優勝した。そこで、さのまるが佐野市にもたらした経済波及効果および広告効果に関する調査を実施した。

## 1. 要旨

- 佐野ブランドキャラクター「さのまる」が誕生からの 3 年 9 カ月間（平成 23 年 2 月～平成 26 年 10 月）に佐野市にもたらした経済波及効果を試算すると、592 億円となった。
- 同期間において、さのまるがテレビ放送のニュース・番組や新聞、雑誌に取り上げられたことによる広告効果（以下、パブリシティ効果）は、35 億円と試算される。
- また、さのまるが「ゆるキャラ®グランプリ 2013」で優勝した平成 25 年 11 月から平成 26 年 10 月までの 1 年間で、佐野市にもたらした経済波及効果は 226 億円となった。優勝後 1 年間で全体の 38.2%を占めていた。
- 優勝後 1 年間におけるパブリシティ効果は 28 億円となり、全体の 79.0%を占める。「ゆるキャラ®グランプリ 2013」優勝によって、さのまるのマスコミへの露出が急速に拡大する結果となった。

## 経済効果

（全期間：平成 23 年 2 月～平成 26 年 10 月、優勝後：平成 25 年 11 月～平成 26 年 10 月）

	全期間	優勝後
さのまるによる経済波及効果	592億円	226億円
さのまる関連商品の売り上げ	4億円	3億円
観光客増加による観光消費拡大	383億円	166億円
イベント来場者による消費需要	205億円	57億円
パブリシティ効果	35億円	28億円

## 2. 経済波及効果

対象期間は、さのまるが誕生してからの3年9カ月間（平成23年2月～平成26年10月）、および「ゆるキャラ®グランプリ2013」の優勝後1年間（平成25年11月～平成26年10月）とした。これらの期間における、①さのまるを利用した商品の売上高、②さのまるによって増加した観光客による観光消費額、③さのまるが出演したイベントへの来場者による消費需要額、をそれぞれ推計した上で、栃木県産業連関表を用いて、佐野市への経済波及効果を試算した。

- ① さのまる利用商品の売上高による経済波及効果は、全期間で3億8,400万円、優勝後で2億5,200万円となった。
- ② さのまるによって観光客数は全期間で213万人、優勝後は117万人増加した。その結果、経済波及効果は、それぞれ383億2,000万円、166億4,900万円となった。
- ③ さのまるがイベントに出演した際の来場者数は全期間で104万人、優勝後は28万人だった。その結果、経済波及効果は、それぞれ205億1,600万円、57億200万円となった。

(百万円)

	「さのまる」の経済効果		商品の売上高		観光消費		イベント来場者需要	
	全期間	優勝後	全期間	優勝後	全期間	優勝後	全期間	優勝後
売上高・消費支出額	35,760	13,653	250	169	23,127	10,044	12,383	3,440
生産波及効果	23,460	8,950	134	83	15,193	6,605	8,133	2,262
経済波及効果の総額	59,220	22,603	384	252	38,320	16,649	20,516	5,702

(百万円)

	「さのまる」の生産波及効果		商品の売上高		観光消費		イベント来場者需要	
	全期間	優勝後	全期間	優勝後	全期間	優勝後	全期間	優勝後
生産誘発額	23,460	8,950	134	83	15,193	6,605	8,133	2,262
直接効果	16,396	6,255	94	58	10,618	4,616	5,684	1,581
第一次間接効果	3,939	1,505	29	18	2,547	1,108	1,363	379
第二次間接効果	3,125	1,190	11	7	2,028	881	1,086	302

## 3. パブリシティ効果

テレビ放送のニュース・番組でさのまるが取り上げられた時間、新聞・雑誌に掲載されたさのまるに関する記事の面積などのデータを元に、それぞれ該当する広告料金単価を乗じてパブリシティ効果（広告出稿した場合の費用換算額）を試算した。

試算の結果、全期間におけるパブリシティ効果は35億1,800万円となった。優勝後のパブリシティ効果は27億8,000万円となり、全期間の算出額の79.0%を占めた。「ゆるキャラ®グランプリ2013」優勝は多大な効果をもたらす結果となった。

(百万円)

	テレビ	放送		新聞	記事掲載回数(回)	雑誌	総計
		放送時間(分)	放送回数(回)				
全期間	2,584	1,576	156	931	811	3	3,518
平成23年度	31	34	4	32	51		63
平成24年度	105	36	11	100	88		205
平成25年度	996	376	77	548	403	2	1,546
平成26年度	1,452	1,130	64	251	269	1	1,704
優勝後	2,025	1,354	119	752	599	3	2,780